



○教育支援・地域連携係です〈よろしくお願ひいたします〉

平成28年度の窓口と取り組みの紹介をいたします。



・校外／寄宿舍

【小延祥夫副校長】



・中学部

【Co.小山洋司】



・全学部

【岡 嘉宏】



【齊藤道代】



・小学部

【Co.小寺潤子】



・高等部

【Co.大谷雅子】



【劔持 彩】



【富田純子】



- ・コーディネーター(Co.)は各学部の教頭・教務や他分掌の担当者と連携し、解決に向けてコーディネートします。また、外部の諸機関との連携においても、コーディネーターは各学部の教頭・教務や他分掌の担当者と連携して支援にあたります。
- ・相談がありましたら、係に直接、または担任を通して、お気軽にご相談ください。

①校内教育支援の充実を図ります。

・校内人材バンクの活用

校内の人材を活用して教職員支援を行い、特別支援学校の教師としての専門性の向上を図ります。

・教育機関、医療機関、福祉機関との連携やその調整

必要に応じて、校内外の支援資源を活用するため、各種関係機関との情報交換や調整、働きかけを行います。

・ボランティア活動の調整及びサポート

ボランティアや外部人材を積極的に活用し、授業の充実を図ります。

・盲・聾学校を中心とした専門指導の調整及びサポート等

重複障害を有する児童生徒のために、盲・聾学校の専門指導員を依頼し、指導の充実を図ります。



②地域内の特別支援教育のセンターとしての機能を発揮します。

- ・電話や来校による相談、岡山市教育委員会の依頼で学校を訪問しての支援等
岡山市だけでなく、県内の小・中・高等学校などの相談に対応します。
- ・各地域の障害者自立支援協議会との調整・サポート等
地域との連携を図り、情報交換・情報発信及び地域支援を行います。

③合理的配慮等の相談窓口となります。

- ・「障害者差別解消法」に示されている合理的配慮等の相談についての対応
合理的配慮等の保護者の方のお悩みについて、担任とともに懇談等で一緒に考えさせていただきます。

○今年度もボランティアさんにお世話になります！

本校では、学校行事や授業の支援等においてボランティアを募集し、協力していただいています。昨年度は体育大会などの行事だけでなく、授業支援も行っていただきました。平成27年度は、延べ人数164名のボランティアの方々が参加してくださっています。ボランティアについては、大半が大学生の方ですが、社会人の方や交流校の中学生もいて、様々な方々に関わっていただいています。みなさん主旨をよく理解し、守秘義務等のルール・マナーを厳守していただいています。

今年度も行事等、たくさんのボランティアの方々に世話になります。4月8日現在、昨年度からの継続も含め、すでに7名の方々が登録してくださっています。5月21日の体育大会、6月25日の寄宿舎祭についても、これからボランティアの募集を行います。学習活動が充実したものになるよう、ボランティアの方々を積極的に活用していきたいと考えています。



○図書を紹介《こんな本を参考に指導・授業づくりをしています。》



「よくわかる肢体不自由教育」

安藤隆男・藤田継道編著 ミネルバ書房 2015年発行

肢体不自由教育に関する基礎事項が、広範囲にわたって書かれている本で、校内研修でも紹介しています。最新の情報・動向を踏まえた上での適切な児童生徒理解、授業のデザイン・実施・評価の一連の流れなど、肢体不自由教育の専門性向上に役立つ本です。